

面接練習 ICTにお任せ

関西大(大阪府吹田市)とNTT西日本は、笑顔を検出する顔認識カメラや心拍数を手首で測定するセンサーなどの情報通信技術(ICT)を活用し、学生の就職面接の練習を進める支援システムの開発に乗り出した。

学生にNTT西のICT機器を装着させ、面接練習中の心拍数や表情の変化、目線の方向、音声データなどを測定。目を見て会話をできているかや、「えーと」など必要のない言葉を挟んでいないか、笑顔、ジェスチ



関西大とNTT西日本が導入する就職面接の練習支援システム(大阪市内で)＝原田拓未撮影

関大・NTT西 心拍数や表情測定

ヤーの量について表示し、面接を総合的に評価する。学生が自らの緊張状態や態度を客観的につかむことで、改善につなげてもらうという。

関大によると、これまでも模擬面接などを行ってきたが、印象や態度は面接官役の担当職員らの経験や感覚に頼る指導が現状だ。開発に携わるシステム理工学部の小尻智子准教授は、「どんな状態で緊張しやすいのかなど、データに基づく具体的な助言が可能になる。面接本番の心構えができ、自信につながる」と説明。来年2月に関大で開かれる模擬面接イベントで試験導入する予定だ。